

特別法要  
新宝物館建設

趣意書

来る令和五（二〇二三）年は、ご開山親鸞聖人ご誕生から八百五十年に当たります。これを期して本山では特別法要と称し、開山親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年、中興真慧上人五百年忌並びに聖徳太子千四百年忌の奉讃法会を計八日間にわたり執り行うことといたしました。この特別法要では「弥陀のよび声」『なもあみだぶつ』を聞いてゆこう」をテーマに若い方からご年配の方までが広くお念仏のみ教えに出遇えるような内容を考えています。

寺院を取り巻く環境は五十年前の御誕生八百年法会執行当時とは著しく変わってきており宗教離れがより一層進んでいます。聖人は聖徳太子に導かれて高僧和讃の源空讃で「本師源空いまさずは このたびむなくすぎなまし」と師である法然上人との出会いをたいへんよろこばれておられます。混乱の時代に真実の教えに出遇ってよろこんでいただく方が一人でも多くなることを願ってやみません。

また、今回の記念事業としまして宝物館の建て替えを行います。現宝物館は昭和三十七年の宗祖七百回大遠忌を記念して建築されましたが、老朽化が進み収蔵庫に空調がないことや防火設備に不備をきたしております。新宝物館はお念仏のみ教えを「見せる展示」から「伝える展示」をコンセプトに誰もが内容を理解できるよう設計を進めています。真宗教団のなかで親鸞聖人直筆の法宝物を多数所持している教団は高田派以外にはなく、これら法宝物を丁寧に管理し次の世代に伝えていくことが私どもの使命であります。

これら法会の円成並びに宝物館の建設資金として合計十六億円が必要であります。時節柄ご出費御多端の中、甚だ恐縮に存じますが、何卒この遇い難き勝縁にご賛同賜り、この尊い法要遂行に皆様方のご類縁の方々にもご勧進下さり、多くのご仏縁をお結びいただきますよう、どうか力強いご懇志、ご賛助を切にお願い申し上げます。

記

一、ご懇志目標（住職）十五万円以上

一、ご懇志目標（檀信徒）二万円以上

・特別法要・新宝物館建設のための御浄財目標額ですので各位にはできる限りのご協力をお願いいたします。

・ご賛助を賜りましたすべての方のご芳名は大切な法宝物と共に末永く宝物館の中に収めさせていただきます。また、ご懇志二万円以上の方につきましては宝物館の壁面に刻銘をさせていただきます。

令和元年十一月

真宗高田派

宗務総長 増田 修誠

特別法要事務局

局長 押小路 蓮円

住職 檀信徒 各位